

「土を考える会 新年の集い」が開催されました

2020年1月22日

全国から60名の各地区土を考える会の会員が都内会場に集まり「土を考える会 新年の集い」が開催されました。

はじめに、各会から2019年度の活動と、本年2～3月に開催予定の研修会の発表があり、それに続いて当日の午前中に農水省で情報収集された中国四国土を考える会の奥山氏(岡山県)から「作業機付きトラクタの公道走行」に関する情報提供が行われ、タイムリーな話題に活発な意見交換が行われました。

その後の情報交換会では、九州沖縄土を考える会で定例となっている出席者が持ち寄ったご当地のお土産をくじ引きで交換する「お土産交換会」が開催され、お土産を提供する側、受け取る側で新たな出会いが生まれ、全国の交流の輪がさらに広がり、熱気を帯びた情報交換は夜更けまで続きました。SNSでは日常的な情報交換を頻繁に行っているにもかかわらず、実際に顔合せての交流は別物のようで、「地域や作物を超えた全国での交流が土を考える会の醍醐味。やはり全国の仲間が集まるこのような機会を今後も継続していきたい」との意見が多数あがっていました。

翌日は、スガノ農機本社工場の見学会がオプションとして行われ、こちらにも多数の会員が参加され、全国の会員が交流する有意義なイベントとなりました。

